



2010-2011

ガバナー月信

2011年3月号

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

VOL. **9**

Rotary International District **2710**



舞台狭しと舞う「こども神楽」／三次市穴笠町

今月は識字率向上月間 特集／奉仕プロジェクトNOW②

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	会員増減・出席率	12
国際協議会に出席して	3	クラブ紹介	14
奉仕プロジェクトNOW②	4	新会員紹介	15
地区のHPが進化していきます	10	国際大会へのお誘い	16
どうなっている? 気になる会員増強	11		



ロータリーの絆をもとう

～あくなき情熱と冷静で～



国際ロータリー第2710地区
ガバナー **前田 茂**

地区ホームページ (HP) をご覧ください <http://ri2710.com/>



ガバナーメッセージ

ガバナー 前田 茂

世界ローターアクト週間によせて

現在、新世代へのロータリーのプログラムはYLA、青少年交換、インターアクト、ローターアクトの4つに代表されます。

インターアクト・クラブ(Interact Club: IAC)はInternationalとActionの合成語から成り、奉仕と国際理解に貢献するため12~18歳までの青少年を対象に作られたクラブで、通常は高校で会合を開き、教師1名と地元ロータリアンが顧問を務め、クラブを提唱したRCと協力して活動しています。

ローターアクト・クラブ(Rotaract Club: RAC)はRotaryとActionの合成語です。先発のIACが世界各地で創られ(1962年10月28日、メルボルン高校IACから始まり、現在11,800以上のクラブ120カ国25万人以上インターアクターがいる。)会員も次第に増加していき、高校を卒業と同時に会員資格を失うことになるので、IACの精神と活動をさらに継続、発展させるものとして1968年1月に当時のLuther H. Hodges(ルーサー H. ホッジス)RI会長が“ローターアクト構想”を打ち出しRI理事会がRACの発足を認証し、米国ノースカロライナ州ノースシャーロットRCの提唱により、1968年3月13日に世界最初のノースシャーロットRACが誕生しました。3ヶ月後の1968年6月1日には、川越RCの提唱により日本初の国際商科大学RAC(現:川越RAC)が誕生しています。

RACは提唱RCの近隣地域内に居住、就職、就学している18歳から30歳になった後の6月30日までの青年男女により構成されます。1993年RI理事会はRAの創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を“世界ローターアクト週間・World Rotaract Week”に指定し、各RCには地元のRACとの共同プロジェクトや親睦活動に参加するよう呼びかけています。

ローターアクトの目標は専門技術、指導能力を開発すること、個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと、すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること等を掲げ、より高い専門知識、指導力、奉仕の精神と実践を身につけるよう要請し、ロータリーへの1つの登竜門となっています。現在150カ国以上7,300クラブを超え会員数は約17万人です。地区内ローターアクトは6クラブ74名が「奉仕を通じての親睦を」共有しています。

2010-11年度は新世代奉仕が第5の奉仕として制定されました。最近、日本の若い世代が内向き志向にあり、ことさらにロータリーの新世代プログラムが充実し、次世代へ向けて有意義になることを念願するものであります。

また、今月は識字率向上月間でもあります(2006-07年度より3月)。世界の非識字人口は10億人ともいわれ、99%が発展途上国に住み、その4分の3がアジア人、その3分の2が女性といます。貧困の根源であり、人口問題にも特に女性の教育が大切とされています。日本においても日本語教育を必要とする在日外国人が急増しています。国連も緊急課題として識字問題を取り上げ、2003-12年を世界識字の10年としております。新世代奉仕プログラムやその他既存のプログラムを通して、識字率向上に取り組む必要を感じます。





ガバナー・エレクト 田村 泰三

国際協議会に出席して

1月17日(月)から21日(金)までサンディエゴの国際協議会に出席しました。世界の532地区からガバナー・エレクトとその配偶者が集まりました。会議は本会議1~8とグループ討論1~11で行われました。

指定席が決められ、会議中はトイレの中座も許されないという厳しいものでした。GSEの交換が決まっている地区同士を隣の席に配置する日もありました。2011-12年度の国際ロータリーの指針を示し、ガバナー・エレクトが役割を十分に務められるように研修を受けるものです。

RIの会長エレクト、カルヤン・バネルジーさんの基調講演が初日にあり、年度テーマが発表されました。テーマは「こころの中をみつめよう、博愛を広げるために」であり、その英語表現はReach within to Embrace Humanityです。日本語に直訳すれば“自分の中に到達しなさい、人類愛を包むために”ということになります。

会長エレクトはインドの出身であり、彼が尊敬するマハトマ・ガンジーの言葉に「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」というのがあるそうです。これがテーマに反映されています。さらに彼は以下のように話を続けます。みなさんは世界を変えるためにロータリアンになられたと思います。ロータリーで力を合わせて変化を達成しましょう。より平和な世界を構築するためには自分の心の中に平和を目指すことが大切です。

そのための強調事項を3つ挙げています。

1. 家族を見つめ、家庭の平和を築きましょう。
家族は社会の礎です。平和な社会を構築するには家庭の平和が必須です。
2. 継続すること。
困難なこと、不可能と思われることでも、継続することで達成されます。世界平和・紛争解決、疾病予防・治療、水と衛生、母性と子供の健康、基礎教育と識字率向上、経済と地域の発展というロータリー財団の6つの重点分野を目指すにも継続することが重要です。会員増強もポリオ撲滅も同じです。
3. 変化。
求めている変化を実践するために、自身が変化の担い手になる必要があります。

“自分の中を見つめ、潜在能力を見出し、博愛を広げる”これが今年のテーマです。

このテーマはロータリー活動に対する心の持ち方を示していると思います。持続することと、変化をすることは一見矛盾するようにも思えますが、無批判に今までを踏襲するのではなく、いいものは残し、時代にそぐわなくなったものは勇気を持って変えるという不易流行が必要であるといっているのだと思います。そしてその変化には自分の潜在能力を引き出すことから始まり、多くの資源とエネルギーが必要です。

地区の信条としては“ロータリーで楽しむ心を学ぶ”を掲げたいと思います。国際ロータリーの年度テーマを側面から支えるような目標になると思います。このような精神を持って、新たな気持ちでロータリー活動を開発・発展させることで、一層意義が大きくなると思います。





奉仕プロジェクト委員会
委員長 明山 晃映

特集 奉仕プロジェクトNOW

2010-11 ②

先月に引き続き「奉仕プロジェクトNOW」として地区奉仕プロジェクト委員会内各部会からの取り組みをご報告させていただきます。今月はPETS開催など次年度に向けての動きも加速する時期となってまいりました。それに合わせ、各クラブにおける次年度に向けてのプロジェクトの計画も進んでいる事と思います。地区委員会としても諸行事に取り組みつつ、各クラブプロジェクト立案に向けてのサポートを推進させて頂きたいと思っております。

青少年交換プログラム 2010-11年度 中四国3地区 青少年交換委員会

(第2670地区・第2690地区・第2710地区)



青少年交換委員長
灘岡 直隆

2011年2月5日(土)から6日(日)にかけて第2710地区主幹の下、岡山県倉敷シーサイドホテルにおいて、中四国3地区合同の受入学生と派遣予定学生のオリエンテーションが開催されました。

この研修は、3地区が交替で担当をおこなっています。当地区からの参加者は、ロータリアン4名・2011-12年度派遣学生5名・2010-11年度受入学生5名・2009-10年度ROTEX3名・地区事務局2名の計19名で参加しました。全体では43名の参加(講師2名を除く)でした。

主幹地区を代表して、小田聡之副代表幹事の挨拶でスタートした研修は、講師に第2520地区(宮城県)の若林洋一先生と特定非営利活動法人テラ・ルネサンス理事、日本小型武器行動ネットワーク運営委員の鬼丸昌也先生をお迎えして行なわれました。

研修内容は青少年交換プログラムの意義、留学に対する目的意識や心構え、危機管理、世界情勢等、様々な事について行なわれました。

オリエンテーションの一部では、自己アピールの時間があり、多くの人の前で日本舞踊を舞ったり、バイオリンで「情熱大陸」のテーマ曲を弾いたり、学習を続けている習字の披露に「根性」と書いて皆に見せたり、モダンバレエの動きを説明しながら踊ったりするなど、海外に留学した際に自分自身を表現する為の時間も設けてありました。

また、留学から帰ってきたROTEX、派遣学生、受入学生、ロータリアンとの意見・情報交換会もあり、とても有意義な時間で、私自身も色々な事が学べ、明日への元気をもらえるような研修でした。

最後に、このオリエンテーションにご協力頂いた小田聡之地区副代表幹事、河本栄治地区青少年交換副委員長、湊内久美子地区青少年交換委員長補佐、地区事務局員他、多くの方に感謝申し上げます。



小田副代表幹事挨拶



自己アピールでの日本舞踊





倉敷美観地区での散策

International District 2710



合同オリエンテーションに参加して

青少年交換委員長補佐

渕内 久美子

交換学生合同オリエンテーション

2月5日(土)6日(日)、本年度中四国合同オリエンテーションに参加させていただき、青少年交換学生やROTEXたちと有意義な2日間を過ごさせていただきました。

2日目には受け入れ学生およびROTEXのエクスカッションに引率として参加し、倉敷市の大原美術館、倉敷美観地区と総社市の般若院と宝福寺を訪問いたしました。大原美術館では、学芸員の簡単な説明を聞いた後、エル・グレコをはじめとした名画の鑑賞です。展示を眺めながら「懐かしい…」とつぶやいたドイツからの受入学生ダイアナさん。スウェーデンから来たイルバさんはじっと作品に見入っていました。約1時間の自由鑑賞の後、グループごとに倉敷美観地区を散策し、思い思いの場所で楽しく過ごしました。(実は心配していましたが、意外なほど真面目に)決められた集合時間に戻って来た彼らの手にはたくさんのお土産が…。何を買ったのでしょうか…。

その後、賑やかな美観地区から総社市の般若院へ向かいました。寺院内庭園を見学の後に昼食となり、豆腐を主とした精進料理をいただきました。赤いお碗に盛られた料理を、まずブレット君(カナダ)がカメラで撮りはじめると、それぞれが一斉にデジカメをかまえはじめました。

料理の最初はお菓子と抹茶で始まり、最後はお茶でお碗や食器を洗う(清める)ところまで教わりました。さあ、お腹もいっぱいになった(?)と

ここで、いよいよ雪舟ゆかりの宝福寺で10分間の座禅体験です。ジャージ姿のヴィクトリアさん(アメリカ)は何とか組めていましたが、それでも海外からの学生達は脚が長くて苦勞していました。

なんとか決められた時間が終わりました。するとROTEX(2009-2010)の松本君が「叩かないのですか？」と質問。ご住職は「海外の人が一緒の時は棒を出しません」と説明されました。「警策」(けいさく・眠気を覚まさせ、肩などを打つ檜の棒)の意味をしっかりと聞いたうえで松本君が体験します。静かだった禅堂にババーンと大きな音が響きました。最初はその音に驚いた学生達でしたが、好奇心とともに次第に興味湧いてきて次々と体験し、心身ともに引き締まったようです。「心落ち着くこういう場所が好きだ」と語ってくれたストラットン君(アメリカ)。日本の食べ物は苦手でも、日本の心をととても好きでいてくれることに、ほっとしました。あっという間の5時間でした。さすが「晴れの国」です。お天気にも恵まれ、前日体調を崩し参加を心配した第2690地区のサラさんも元気に行って帰ることができました。

日本に来て約半年、訪れた場所で難しい日本語の説明にも熱心に耳を傾けながら、日本の自然、歴史や文化を学ぼうとしている彼等、残り半年も知的好奇心に満ちた時間をたっぷり楽しんで帰り、日本を伝え、日本の理解をより深める若き親善大使の役目を果たしていただきたいものです。

私は、以前娘が青少年交換学生としてお世話になり、またホストファミリーを経験させていただいた関係で、今年度委員長の補佐役をさせていただいていますが、こういった青少年と深くかわりを持った活動に参加させていただき、ロータリーの誇りを感じることが出来ます。今後もロータリーのプログラムに参加する若者のために、安全で有意義な環境を作り、維持することに微力ながら貢献していきたいと思ひます。





奉仕プロジェクトNOW RI第3690地区(韓国)の インターアクト達が やってきた!!



インターアクト部会
藤原博己

インターアクトクラブの目的である奉仕の心を持ち、国際社会の相互理解に基づいた世界の人々との友好関係を築き、将来、社会の有用な市民になっていただくためにも、今年度もインターアクトクラブの活動に対しまして地区として支援をさせて頂いております。

これまでに第34回インターアクト地区大会を7月31日、8月1日の両日で地区の16校、約160名のインターアクターが広島国際会議場に集い「手をつなごう！世界平和のために～広島から世界へ～」をテーマに開催されました。

平和記念資料館の前田館長様の基調講演のあとグループミーティングをして発表しあい、核兵器の恐ろしさと平和の尊さを改めて実感をするプログラムであったと同時に、今回感じ得た想いをいろいろな形で発信をしていただきたいと思います。

IR第2710地区 IACスケジュール(2010年7月～2011年6月)

- 2010.7.31～8.1 第34回インターアクト地区大会
テーマ「手をつなごう！世界平和のために～広島から世界へ～」
- 2010.11.20 インターアクト顧問教師打合せ会議
(韓国インターアクト受け入れについて)
(ホテルグランヴィア広島)
広島県立広島商業高校／如水館高等学校／修道高等学校／呉工業高等専門学校／鈴峯女子高等学校／清水ヶ丘高等学校／山陽女学園高等部／英数学館高等学校
- 2011.1.22 インターアクト顧問教師打合せ会議
(韓国インターアクト受け入れについて)
(ホテルグランヴィア広島)
- 2011.1.29～30 日・韓親善インターアクト歓迎会
(ホテルグランヴィア広島)
国際ロータリー第3690地区
ロータリアン I A委員長……金慶巨
次期I A委員長…方錫哲 他2名
I A C 韓国地区代表…他25名
I A C 指導教師2名…計31名
- 2011.2.27 インターアクト韓国研修旅行説明会
(山口グランドホテル/ホテルチューリッヒ東方2001)
広島、山口の2会場
- 2011.3.26～28 第28回インターアクトクラブ韓国研修
1日目 ホストファミリー対面式…終了後ホームステイ
2日目 ホームステイ先より集合…見学、観光・鳥頭山統一展望台(景福宮・国立民族博物館・清溪川 等)
インターアクトクラブ韓国研修旅行記念誌作成
- 2011.4下旬 広島地区次年度指導者研修会
修道高等学校
- 2011.5下旬 山口地区次年度指導者研修会
香川高校
- 2011.6.12 顧問教師全体懇談会
R I 2710地区 I A C / 17校顧問教師



昨年度はインフルエンザの流行で中止になった韓国インターアクターのホームステイ受け入れを、今年は1月末に無事終わることができました。

第3690地区の25名の学生と、金慶巨インターアクト委員長をはじめとする4名のロータリアンの皆様、そして顧問教師2名の31名の方々と、短い時間ではありましたがそれぞれの国の伝統や生活習慣を学ぶ有意義な2日間でした。もう少し長く学生どうしの交流の時間がとれたらと感じました。

3月の末には、こちらから韓国にホームステイも兼ねた研修に約30名の学生と行く予定になっています。ぜひとも両国のインターアクトの皆さんが両地区のひとつの架け橋となつていただくべく、交流と親善を深めていただければと思います。

今年度、前田ガバナーの強い思いでもあります新世代、青少年育成、また、青少年奉仕に対する支援を、残された今年度のプログラムの中で、皆様のご支援とご協力を賜りながら推進すると共に次年度に引継ぎをさせていただきたいと思います。



前田ガバナー

藤原部会長

田村ガバナーエレクト



日韓の学生たち



会場風景



韓国の委員長と次年度委員長



再会を約束して帰国しました

奉仕プロジェクトNOW

RCC (地域社会共同隊) 地区大会報告

社会奉仕部会

矢谷 秀昭



第2710地区2010～11年度RCC地区大会が、2月13日(日)下関西RCCの主催で下関の彦島八幡宮で開催されました。

【参加クラブ】

- ・広島安芸RCC(提唱クラブ/広島安芸RC)
- ・広島廿日市ゆうほRCC(提唱クラブ/広島廿日市RC)
- ・東広島こころ塾(提唱クラブ/西条RC)
- ・柳井西RCC(提唱クラブ/柳井西RC)
- ・防府あすなろRCC(提唱クラブ/防府RC)
- ・下関西RCC(提唱クラブ/下関西RC)

以上の6クラブで、前田ガバナーをはじめ、地区役員、提唱ロータリークラブ会員、そしてRCC会員と総勢80名の参加で開催されました。

開会式の後、「我が街で生きること暮らすこと・障害がある人の支援と関わり方」のテーマで、障害児の支援に活躍されている、かねはら小児科院長金原洋治様の講演がありました。

・東広島こころ塾は、「子供としっかり向き合う大人になるために」を主題に、①自己をみつめる ②こどもを知る ③日本の心を知るの3つの柱で活動。特筆は教師力養成・心の鍛錬講座の歩みが認められ、公的研修がもちにくい心の鍛錬研修を、東広島市教育委員会より委託を受けて企画運営された。

・柳井西RCCは、毎月1回定例の駅前清掃、伝統工芸品の親子体験工房の開催、知的障害厚生施設との交流などの活動。

・防府あすなろRCCは、フリーマーケット参加、「環境保全活動」として里山や森の整備、毎月の例会に講師を招いて会員の自己研鑽に勉めるなどの活動。

・下関西RCCは、障害者施設への支援や障害者との芋ほりやクリスマス会などの交流活動、なかでも「みんなでつなごう42.195km」。最初は障害者グループで始まったこの活動も、今では健常者も障害者も老若男女が参加する大きな大会になった話には感動いたしました。

活動報告の後、RCC活動について意見交換が行われました。その後の閉会式で、ガバナーの講評と謝辞、ロータリーソング。そして次年度開催クラブの東広島こころ塾への引継式が行われ、RCC地区大会が終了しました。



午後からは各クラブのRCC活動報告がおこなわれました。主な活動を紹介します。

- ・広島安芸RCCは、広島海洋少年団の支援活動。
- ・広島廿日市ゆうほRCCは、「青少年健全育成」では小学校で被害防止・薬物乱用防止の紙芝居や人形劇、「高齢者福祉」では悪質商法や詐欺の手口の紹介、「環境保全」では川の清掃作業などの活動。



RCCロータリー地域社会共同隊について Rotary Community Corps

1986年～1987年のRI会長マット・カパラスにより提唱されました。当時のフィリピンは政情が不安定で貧富の差が激しく、特に農村は貧困に喘いでおりRCCは民意制度の低い村落の村おこし、いうなれば自主自力をめざして地元のボランティアが結束して行動させる住民組織として1986年フィリピンから始まった活動です。

元来、未開発の貧困な農村の村おこしの開発集団的な発想から生まれたRCCが、今日では先進国の成熟した社会環境の中で、行政の歪や日の目の当たらぬ陰の部分にロータリーの奉仕の手を差し延べる、そういう意味でRCCの活動が展開され発展してきました。RCCの奉仕はロータリーの奉仕とは少し違って、自分の住む地域社会という限定された中で、住民のボランティアが同じ志を持って共通のニーズに対して、しかも年次計画のもとでプロジェクトチームを作って自助の奉仕作業を共同作業として行い、組織化されたプロジェクトの実行するチームを協同隊という。

皆様のクラブもRCCクラブの提唱されたいかがでしょうか。

- ①RCCの会員資格は、善良な性格と指導者としての素質を備えた成人であること
- ②RCCは10名以上の男女によって構成されること
- ③RCCは毎年少なくとも2つプロジェクトを実施すること
- ④RCCの例会は少なくとも月1回、指導者グループは月2回開催すること
- ⑤RCCの例会にはロータリアンが少なくとも1名は出席すること
- ⑥RCCは提唱RCと協力して年次プログラム報告書をRIに提出すること

以上の様な条件でRCCクラブが設立できます。皆様のクラブも、地域に密着した奉仕活動を行っているRCCの提唱クラブになって奉仕の輪を広げていただければと思っています。



奉仕プロジェクトNOW



世界ローターアクト週間にちなんで

直前地区ローターアクト代表
井本成一
(呉RAC)

1968年3月13日に米国初めて結成されたRACを記念して、13日を含む月～日曜に、世界RA週間があります。国際ロータリーからは、この機会に提唱RCと協力し、互いの会合への出席や、奉仕プロジェクトを合同で実施するなどの活動を推奨しています。

ポイントとなるのは前述にもあるように「合同」ということです。普段の活動の中でも、提唱RCとRACは密に互いに連絡を取り合い、相互理解に努めていると思います。ある意味、それを見つめ直す機会なのかもしれません。

RAC会員は定款により入退会(卒会含む)が多いため、せっかく多くの提唱ロータリアンとの繋がりを持ち、クラブ間の良い関係が構築されても、



数名がそれを永きに渡って、継続させることが困難なのです。

是非この機会に、これまでに接点のなかったロータリアン及びローターアクトが互いに手を取り合い、活動の上で親睦を深めてみてはいかがでしょうか。そうすることが、今後の両者の発展へ繋がるはずで



地区内 ローターアクトクラブ紹介

地区ローターアクト代表 **後藤和幸**
(福山RAC)

国際ロータリー第2710地区ローターアクトクラブ会員の皆様こんにちは、地区ローターアクト代表の後藤和幸です。

今年度当地区には広島県に3クラブ、山口県に3クラブの計6クラブのローターアクトクラブが存在し、日々活動しております。

12月現在の会員数及び増減は、福山RAC15名(+4名)、広島RAC16名、呉RAC12名(+4名)、徳山RAC11名、宇部RAC7名(+4名)、下関RAC22名(+6名)の計83名(18名の増加)と、おかげさまで大半のクラブで会員が増加しています。

嬉しい反面、新人会員が増えることにより、一部のクラブでは様々な問題点が浮かんできています。会員の獲得のみに意識をとられるのではなく、同時にアクトとは何か、何の為に活動しているのかをきちんと説明できていないクラブもあるように思います。その為に会員間で負担の偏りができ、地区としてどのようにサポートしていくのが課題となってきました。

では、どのように改善していけばいいのでしょうか。やはり一番重要なことは今期地区ターゲットとしている「【歩】～歩幅を合わせよう～」をしっかりと地区メンバーに浸透させる事だと思います。クラブの会長はもっと地区理事に歩み寄り、しっかりと相談し、アクトの知識・体験談・魅力を吸収する。クラブに持ち帰りメンバーにそれを伝える。皆がしっかりと意識を持ち活動して行くことが出



奉仕プロジェクトNOW



全国ローターアクト研修会に参加して

地区ローターアクト代表エレクト
小倉典子 (下関RAC)

2月11日12日に埼玉県の大宮市にて全国ローターアクト研修会が開催され、地区代表部門、幹事・エレクト部門、一般部門と分かれて、研修会テーマである「愛」に沿った内容のプログラムが行われました。

私は、地区代表エレクトなので幹事・エレクト部門に参加しました。そこでは、KJ法という方法でグループごとに意見を出し合い纏めて発表をしました。テーマは「ローターアクトの発展の為、これからやるべきことは？」です。人員、広報、資金、愛についてそれぞれ



このグループで1つ話し合いを行いました。私たちのグループは人員の観点から、人をどうやって呼び込むのか？どうやって繋ぎ止め、育成していくのか？という事を考えました。色々な意見がでて、中にはとても参考になる意見もありました。また、そうやって色々な人とアクトについて話していく中で、自分自身のアクトに対する考えや思いが一段と明確になったような気がします。

今回の研修会に参加して、自地区の仲間との絆や、他地区の方との絆がより一層深まった気がします。今回学んだことを忘れずに、来期に生かしていきたいと思います。

来れば、先ほど述べた問題点は解決できるのではないのでしょうか。

しかしながら、アクトだけの意識・活動だけではどうする事も出来ない事があります。ロータリアンの皆様は、我々ローターアクトが普段どのような活動をしているのかご存知ですか。まずはローターアクトクラブの通常例会に足を運び、どのような活動をしているのか、どのような悩みを抱えているのか、耳を傾けて頂きたいと思います。

今後ともローターアクトのよきパートナーとして、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

韓国RACとの交流会



ローターアクトクラブ活動



地区ホームページについて

広報委員会 委員長 佐々木 智

地区のホームページが進化していきます

地区ホームページをご覧になったことがおありでしょうか？地区事務局によって運営されており、ガバナーメッセージ、R I 会長メッセージの閲覧やガバナー月信の閲覧・ダウンロード、ロータリージャパンなどのロータリー関連ホームページへのリンクが現在の機能ですが、折角ホームページがあるのだから、もっと有効に活用したいという意見をいただいて刷新を検討しております。

ホームページの機能として一般への広報活動やPR活動のほかに、ブログに代表されるように他者とのコミュニケーションを図るためのツールとしても用いることができます。具体的には地区ホームページを利用して、地区内の他クラブの動向がわかるように、あるいは他クラブの

会員との交流を深めることが出来るように、YouTubeやFacebookなどのソーシャルネットワークツールを活用しながら、地区内のロータリアン誰もが楽しく訪れるようなホームページにしたいと考えています。一般の方への広報においても、ホームページを通じて地区あるいは近隣のクラブの活動を知ることが出来れば、ロータリークラブへの認識・理解が深まり、会員増強へもつながると考えます。

とはいえ、実際にはまだ何も形にはなっておらず、私も含めホームページについては素人が暗中模索で進んでいる状況です。皆様からのご意見、ご要望などをお聞きしながらより良いホームページを作りたいと考えておりますので、こんな機能が欲しい、こんな工夫があれば閲覧数が増えるといったご意見、ご指示がありましたら是非ご指導ください。よろしく願いいたします。



現在のホームページ(ホーム)



企画中のホームページ



会員増強の中間報告と今後について

会員組織委員会 委員長 平田 克明

どうなっている？ 気になる会員増強！！

1. 長期減少に歯止めをかけ、増員に転じよう

バブル崩壊以後、企業活動の低迷により当地区の会員数は1998年の4,379会員を最高に、現在(2010年7月1日)3,284会員(年間平均約91名のマイナス)まで、12年間減少を続けてきました。

入会のお誘いに会社訪問をすると、「入会して学び、多くの友人をつくり、共に奉仕をしたいが、今はとてもロータリーに入会する環境になく、会社の存亡の危機にすら瀕している状況である」と、多くの社長さんが話されます。

「こういう時だからこそ、多くの友を持ち、学習することが大切なのは」と訴えるのですが、とりわけ社長が陣頭指揮をとる中小企業にとっては、昼の時間帯に2時間あまりの時間をさく気持ちを持ってないのが現実のようであります。

2. 地区セミナーで3,500会員達成を申し合わせ

さて、地区指導者育成セミナーに於いて、前田ガバナーの「会員をプラスに転ずる」という意向を受け、下記5項目の実践を確認しました。

- 1) 全会員が3,500会員を達成する熱意で取り組む。
会員相互の情報交換を綿密に行う。
- 2) 退会防止のため、会員相互の親睦を深める。
- 3) 魅力ある例会づくりに努める。特に外部講師の活用など卓話を工夫する。
- 4) 女性会員、若者会員など多用な会員獲得に努める。

5) 他クラブ地区の知人・友人を紹介し、2710地区全体で情報を共有する。

3. 残り212会員入会達成に更なる努力を

2009-10年度は入会会員275名に対し、退会会員は313名となり、結局38名の減員となりました。

2010-11年度の目標会員数は3,547名に設定しており、2010年12月末会員数3,335名であり、212名が未達です。

現在の新入会員数140名、退会会員84名で、現時点では56名の増員です。

因みに、昨年度12月時点の新入会員数は144名、退会会員数は101名で43名の増員であり、今年は若干退会者が減少しているものの、ほぼ前年並みの推移であると予想されます。

4. 各クラブの目標必達に全力をお願い

今までの状況で推移すると、昨年同様に減員になる可能性すら秘めています。

月毎に各クラブの会長、会員組織委員長様宛に、各クラブの増強の状況を報告し、更なる努力をお願いしています。クラブの総力を挙げて目標の達成をお願いしますと共に、同時に退会防止にも努めていただきますようお願いいたします。

また、すでに目標を達成しているクラブにおかれましても、更なる会員増と退会防止に努めていただき、3,500会員を達成させて美酒で乾杯したいものです。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース ★ハイライトよねやま132号★ 2011年2月10日発行

今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 下半期もやや厳しいスタート —
2. 4月からの新奨学生が決定！
3. 学友から10万円の寄付 — 20年ぶりに世話クラブ訪問 —
4. 学友が地区米山奨学委員に — 第2760地区 —
5. 中国青年歌手大賞の最優秀賞受賞
6. P E T S ・地区協議会での紹介をお願いします

▼ PDF版はこちらをご覧ください。 http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight132_pdf.pdf



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2710地区 2010-11年度/74RCの会員増減・出席率

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)									
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度			
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減	
グループ1 7クラブ													
長 門	83.66	84.85	3	34	32	0	0	32	5	0	2	▲2	
下 関	85.42	89.11	5	49	48	0	0	48	0	1	2	▲1	
下関中央	77.49	85.03	4	30	30	0	0	30	5	1	1	0	
下関東	78.59	80.74	3	52	49	1	0	50	0	3	5	▲2	
下関北	77.73	83.44	3	42	41	1	0	42	0	3	3	0	
下関西	94.85	94.97	4	30	34	0	0	34	1	4	0	4	
油谷湾	100.00	99.73	2	13	14	0	0	14	0	1	0	1	
計	85.39	88.27		250	248	2	0	250	11	13	13	0	
グループ2 7クラブ													
萩	97.03	92.58	4	57	57	0	1	56	0	1	2	▲1	
萩 東	95.83	95.83	3	24	24	0	0	24	0	0	0	0	
美 祢	83.33	77.07	3	27	27	1	0	28	0	2	1	1	
小野田	83.67	84.49	3	49	49	0	0	49	0	2	2	0	
宇 部	87.06	88.79	3	52	54	0	0	54	2	3	1	2	
宇部東	73.01	71.93	3	20	21	0	0	21	4	1	0	1	
宇部西	85.05	87.50	3	51	53	1	0	54	1	3	0	3	
計	86.43	85.46		280	285	2	1	286	7	12	6	6	
グループ3 7クラブ													
防 府	95.76	90.45	3	61	62	1	0	63	0	4	2	2	
防府北	95.24	93.86	2	20	21	0	0	21	2	3	2	1	
防府南	83.48	86.13	3	30	30	1	0	31	5	3	2	1	
山 口	92.69	94.60	3	51	57	1	0	58	3	7	0	7	
山口中央	86.00	86.57	3	7	7	0	0	7	2	1	1	0	
山口県央	94.44	97.65	3	35	36	0	0	36	1	2	1	1	
山口南	83.45	81.12	4	38	36	1	0	37	3	2	3	▲1	
計	90.15	90.05		242	249	4	0	253	16	22	11	11	
グループ4 5クラブ													
光	87.75	93.83	3	50	50	0	0	50	0	1	1	0	
周南西	100.00	100.00	3	40	40	2	0	42	2	3	1	2	
徳 山	95.63	96.75	4	41	47	1	4	44	1	8	5	3	
徳山セントラル	88.51	91.33	3	28	29	0	0	29	1	2	1	1	
徳 山 東	99.32	98.42	3	50	50	0	0	50	0	0	0	0	
計	94.24	96.07		209	216	3	4	215	4	14	8	6	
グループ5 5クラブ													
岩 国	80.83	82.19	4	59	62	2	0	64	0	6	1	5	
岩国中央	86.73	87.66	3	43	43	1	0	44	3	2	1	1	
岩国西	85.96	86.79	4	63	64	1	0	65	2	3	1	2	
柳 井	100.00	100.00	3	28	28	1	1	28	2	1	1	0	
柳井西	96.90	97.22	4	28	28	1	0	29	2	1	0	1	
計	90.08	90.77		221	225	6	1	230	9	13	4	9	
山口県計	89.26	90.12		1,202	1,223	17	6	1,234	47	74	42	32	
グループ6 7クラブ													
広 島	98.40	98.13	3	121	127	0	1	126	1	8	3	5	
広島安芸	98.08	98.69	4	38	39	0	0	39	2	1	0	1	
広島安佐	88.08	89.71	4	22	22	0	0	22	1	1	1	0	
広島東	96.74	96.85	4	93	95	0	0	95	4	5	3	2	
広島北	100.00	100.00	4	78	78	1	0	79	0	3	2	1	
広島陵北	96.88	96.57	4	41	39	1	0	40	0	1	2	▲1	
大 竹	84.76	81.28	3	33	34	1	0	35	0	3	1	2	
計	94.71	94.46		426	434	3	1	436	8	22	12	10	



2011年 1月度

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7 7クラブ												
広島中央	100.00	100.00	3	57	59	0	0	59	4	4	2	2
広島廿日市	87.62	90.32	3	35	35	0	1	34	1	2	3	▲1
広島城南	97.23	96.96	4	41	43	2	0	45	1	4	0	4
広島南	98.82	97.25	4	84	89	0	1	88	0	7	3	4
広島東南	100.00	99.84	4	85	90	0	0	90	8	6	1	5
広島西南	100.00	99.59	3	63	62	1	0	63	3	2	2	0
広島西	99.08	99.79	4	85	82	1	0	83	0	1	3	▲2
計	97.54	97.68		450	460	4	2	462	17	26	14	12
グループ8 7クラブ												
江田島	90.79	86.03	4	19	19	0	0	19	0	0	0	0
東広島	98.92	98.71	3	31	31	0	0	31	2	1	1	0
東広島21 呉	94.74	94.65	3	17	19	0	0	19	4	2	0	2
呉 東	91.19	93.59	4	69	71	0	2	69	0	3	3	0
呉 南	83.66	89.33	4	32	31	0	0	31	0	1	2	▲1
西 条	84.77	89.55	3	46	48	0	0	48	3	2	0	2
計	100.00	99.46	4	52	51	0	0	51	3	1	2	▲1
計	92.01	93.05		266	270	0	2	268	12	10	8	2
グループ9 7クラブ												
広島空港	81.48	80.71	3	26	27	0	1	26	2	1	1	0
因 島	83.02	90.51	4	28	30	0	1	29	2	2	1	1
三 原	88.38	88.37	3	68	67	0	0	67	2	2	3	▲1
尾 道	87.58	86.80	4	72	72	0	0	72	1	4	4	0
尾道東	86.45	88.29	3	55	54	1	0	55	1	1	1	0
瀬戸田	89.00	85.40	4	15	11	0	0	11	0	0	4	▲4
竹 原	90.57	90.85	4	37	38	0	1	37	4	1	1	0
計	86.64	87.28		301	299	1	3	297	12	11	15	▲4
グループ10 5クラブ												
府 中	77.69	90.57	4	37	36	0	0	36	0	0	1	▲1
福 山	93.44	94.78	3	83	82	0	0	82	0	2	3	▲1
福山東	87.64	86.81	3	52	54	0	0	54	0	3	1	2
福山丸之内	96.29	96.24	3	36	36	0	0	36	1	0	0	0
鞆の浦	78.79	87.40	2	34	33	0	0	33	0	1	2	▲1
計	86.77	91.16		242	241	0	0	241	1	6	7	▲1
グループ11 5クラブ												
福山赤坂	83.45	83.92	4	39	43	1	0	44	4	5	0	5
福山北	98.94	98.36	4	44	47	0	0	47	0	3	0	3
福山南	87.19	83.81	4	61	60	2	0	62	1	3	2	1
福山西	90.70	89.09	3	42	43	0	0	43	2	1	0	1
松 永	88.50	89.55	4	43	42	0	0	42	0	1	2	▲1
計	89.76	88.95		229	235	3	0	238	7	13	4	9
グループ12 5クラブ												
吉 舎	97.35	96.78	4	21	20	0	0	20	0	0	1	▲1
三 次	83.52	84.14	4	43	43	2	0	45	0	2	0	2
三次中央	94.77	95.76	3	48	51	0	0	51	8	3	0	3
庄 原	89.43	90.23	3	37	38	0	0	38	4	1	0	1
東 城	79.54	84.41	4	19	21	1	0	22	1	3	0	3
計	88.92	90.26		168	173	3	0	176	13	9	1	8
広島県計	90.91	91.83		2,082	2,112	14	8	2,118	70	97	61	36
2710地区計	90.09	90.97		3,284	3,335	31	14	3,352	117	171	103	68

*下関中央RC、東広島RC、府中RC、福山南RC、吉舎RC：12月退会者「0」⇒「1」へ変更



G9 第2710地区グループ紹介 G9ガバナー補佐
[広島空港・因島・三原・尾道・尾道東・瀬戸田・竹原] **村上清司**(尾道RC)

G9は尾道市、三原市、竹原市の3市の7クラブで構成されており、いずれもしまなみ海道・瀬戸内海を望む風光明媚で文化の街です。尾道市内には円鍔勝三彫刻美術館・尾道市立美術館・尾道白樺美術館・なかた美術館・耕三寺博物館・平山郁夫美術館、そして本因坊秀策囲碁記念館があります。尾道市内4ロータリークラブが賛同、協賛事業として、美術館めぐりとして『子ども学芸員の旅』を企画、小学生4年～6年生、60人(抽選)の一泊二日の奉仕活動が実現しました。ガバナー補佐の橋渡しが各方面より賞賛を得て実現し感謝しております。この共同奉仕を通じロータリーのPRの一助になる事を期待しております。

因島RC、瀬戸田RCには会員増強に頑張っており、頭が下がる思いです。因島RCには退会された会員が4人も再入会され、会員同志の結束力が更に高まり頼もしい限りです。

尾道東RCには、毎年「市民講座」を開催されておりますが、今年は尾道中学・高等学校で「戦場カメラマンの渡部陽一」の記念講演、バンクーバー

オリンピック・スノーボード代表選手の「竹内智香」の講演会は、生の迫力と感動を得ました。

三原RCは、本年50周年を迎え会員一同結束硬く、来年4月20日の記念式典が楽しみです。

竹原RCは昨年、本庄AGのもと素晴らしいIMを開催され、ロータリーの絆が一層培われた感があります。

広島空港RCには、地区補助金を獲得すべく、会員一丸となって取り組まれ羨ましくもありました。

尾道RCは、昭和48年から尾道ロータリー奨学金制度があり、近年は大学生4人、高校生3人の年間7人への支援をしております。又、尾道の文化に貢献した個人、団体に「尾道ロータリープレゼント」を贈呈し、感謝の意を表しております。

G9内の7クラブが伝統的に地域密着型の奉仕活動を行い、ありふれたロータリークラブはこう有るべしでなく、各クラブの主体性によって意義深い奉仕活動に頑張っております。

あと半年、ガバナー補佐として、どのようなお役にでも立てるよう奮闘中です。

謹んで
哀悼の意を
表します



徳山東RC
故 山田 宏 殿
2011年2月1日ご逝去 (享年72歳)

【ロータリー歴】
1976-77 幹事
1984-85 分区代理
1987-88 会長
1995-96 ガバナー

単年度冠名奨学金
冠名奨学金基金
ポール・ハリス・ソサエティ(チャーターメンバー)
アーチCクランフソサエティ
メジャードナー

ベネファクター
米山功労法人
米山功労者マルチプル
四大奉仕部門功労者賞
R1超私の奉仕賞、30年間100%出席者

職業分類/精油製品販売



防府RC
故 岩城 満 殿
2010年11月17日ご逝去 (享年63歳)

【ロータリー歴】
2007-08年度 副会長・理事
2001-02年度 理事
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

職業分類/社会福祉事業



因島RC
故 吉田正浪 殿
2011年1月25日ご逝去 (享年76歳)

職業分類/彫刻家



鞆の浦RC
故 石井哲男 殿
2011年1月23日ご逝去 (享年83歳)

【ロータリー歴】
ロータリー財団
1991年6月 PHF
1992年10月 ベネファクター認証
米山記念奨学会
1992年12月 第3回米山功労者
マルチプル
1988～89年 幹事
1992～93年 会長

職業分類/信用金庫



新会員紹介

(順不同)



井上正夫
下関東RC
2011年1月13日
電気工業



滝口好美
美祿RC
2011年1月1日
管材製造



安部研一
宇部RC
2010年12月16日
耐火物



弘中貴之
防府RC
2011年1月11日
仏教



秋本園子
防府南RC
2011年1月27日
社会保険労務士



重見秀和
山口RC
2011年1月12日
生命保険



松村 努
山口南RC
2011年1月28日
旅行代理業



藤井正一
周南西RC
2011年1月18日
ビル管理



松本正義
周南西RC
2011年1月18日
地方銀行



新谷和久
徳山RC
2011年1月13日
商業銀行



富津田孝麿
岩国中央RC
2011年1月12日
仏教



大草政広
岩国西RC
2011年1月14日
一般廃棄物収集運搬



主計龍雄
柳井RC
2011年1月11日
不動産業



永田公一
柳井西RC
2011年1月20日
建物保守サービス



佐々木礼正
広島北RC
2011年1月13日
洋酒販売



瀧下 誠
広島北RC
2011年1月5日
料理店



田淵清文
大竹RC
2011年1月11日
紙販売



久保知久
広島城南RC
2011年1月7日
印刷



小澤元一
広島城南RC
2011年1月7日
印刷加工



中村富洋
広島西南RC
2011年1月11日
機械装置設計



桑原國雄
三原RC
2011年2月8日
神道



福戸山裕弘
三原RC
2011年2月8日
建設業



高垣孔幸
尾道東RC
2011年1月18日
社会福祉



石井宏和
福山赤坂RC
2011年1月11日
自動車検査



寺岡宏昭
福山南RC
2011年1月6日
司法書士



近藤政治
福山南RC
2011年1月6日
新聞発行



前田剛志
三次中央RC
2010年12月13日
弁護士



内藤勝也
東城RC
2011年1月5日
農業改善事業

お詫びと訂正

先般発行した地区大会特集号に以下の通り誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

P09 表彰(クラブ表彰) 意義ある業績賞

【誤】グループ6 広島西ロータリークラブ ⇒ 【正】グループ7 広島西ロータリークラブ

P10表彰(クラブ表彰) 米山記念奨学会寄付達成クラブ

【誤】グループ11 福山南ロータリークラブ 1千万円 ⇒ 【正】3千万円

【誤】グループ10 鞆の浦ロータリークラブ 3千万円 ⇒ 【正】1千万円

P30式典 長寿表彰 写真説明

【誤】米寿(88才)代表は油谷湾RCの伊村会員に ⇒ 【正】米寿(88才)代表は福山西RCの山口会員

また、P09表彰(クラブ表彰)のページに以下の掲載がございませんでしたので、お詫び申し上げます。

◎ガバナー特別賞

グループ6 広島北ロータリークラブ 『重症心身障害児(者)を抱える家族(きょうだい)支援事業』

【表紙の写真】 穴笠町こども神楽 [三次市]

広島県の北部一帯は、昔から神話の国出雲と隣接していることから神楽が盛んで、勇壮で煌びやかな舞で魅了する石見神楽の伝統を汲んでいるものが多いようです。親達が代々地域で継承している神楽は子供たちにも楽しみで各地で活動されています。

この穴笠町は三次市の河内地区にある小さな町ですが、地域の行事を大切にして伝統文化の継承を生活の中で伝えていくことで、子供達が誇れるような故郷づくりをと大人達が協力して進められています。神楽囃子も賑やかな華麗な舞いです。

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1番5号 ホテルグランヴィア広島6F

TEL : 082-506-0055 FAX : 082-263-2323

E-mail : info@ri2710.com URL : http://ri2710.com/

月信編集委員 丸田 洋司、増田 茂典、坂部 由香子、吉崎 秀峰、中島 清祐、竹田 則之

事務局員 岡崎 由美、布施 美佐子

2011年

RI国際大会

米国:ルイジアナ州

ニューオリンズ

2011年 5月21日~25日



国際大会へのお誘い

ビートを刻み、ときめきを

国際大会推進委員
バスターガバナー 金子 信



地区から50名以上の参加を



本年度の国際大会が、米国ルイジアナ州のニューオリンズで開催されます。私は、当地区前田茂ガバナーの下で、その参加推進委員会を担当しています。

ニューオリンズと聞けば、目に映るもの、耳に流れ込む音楽など、すべてがスペイン・フランス・アフリカ音楽の流れを受けている調和のとれた米国の歴史的都市であるだけでなく、'05年の大型ハリケーン(カトリーナ)による大災害が思い出されます。当時開催を予定されていた国際大会はやむなく見送られましたが、わずか5年で劇的な復興を遂げ、今回の開催に漕ぎ着けられた事は大変意義深く思います。

更には、さすがジャズ発祥地であるだけに、困難を克服しながらも決して楽しみを忘れないという精神が、この街の魅力を一層引き立てています。

RI会長レイ・クリングスミス氏は、この地が青年時代ロータリー奨学生として、アフリカのケープタウン大学に留学するために、ミシシッピ川下流の港から貨物船に乗り込み、南アフリカに向かった、大変思い出深い街と述べられています。

本年度RI会長の「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマはとても理解しやすく、また、当地区前田ガバナーの「ロータリーの絆をもとくあくなき情熱と冷静で〜」というテーマとの繋がりも汲み取れます。

私も過去幾度ともなく参加させて頂いた経験として、世界のロータリアンに持参したバナーや名刺を交換する時の、一瞬のときめきは今も鮮明に記憶していますし、また、旅を共にすることで、古くからの言い伝えに「同じ屋根の下で過ごし、同じ釜の飯をする」とあるように、一時期を共に生活することによって、お互いに胸襟を開き親しくお付き合いできる喜びは、今更私が言うまでもありません。

私の希望としては、地区内より50人以上の参加を頂き、来る来年の5月には、日本人参加者全員の朝食会や、ガバナー主催の夕食会でテーブルを囲み、ビートを刻み、リズムに乗った音楽であふれるニューオリンズの醍醐味を体験しようではありませんか。どうか多くの会員及び御家族の方々とお会いできる日を心待ちにしております。



早めの登録でお得な割引が受けられます

第1次締切は12月15日に終了しました。

第2次締切日〈3月31日〉 割引料金(340ドル)でお申し込みいただける最終日です。この日を過ぎると、大会登録料は380ドルとなります。

登録方法 登録には以下の方法があります。直接お申し込みください。

1.FAXあるいは郵送で、日本事務局へ

■登録様式をダウンロードできます。

<http://www.rotary.org/ja/Members/Events/Convention/Pages/ridefault.aspx>

2.会員アクセスページからオンライン登録

■登録後に確認通知がEメールで送られます。

<http://www.rotary.org/ja/selfservice/Pages/Login.aspx>

3.地元の旅行会社を通して



韓国第3690地区 地区大会の日程が変更になりました。



第1日目 2011年4月15日(金) ラマダソンドホテル

第2日目 2011年4月16日(土) 富川体育館

■ツアーのご案内

4月14日(木) ■広島空港・福岡空港から仁川空港に集合

■ソウル市内 サムソン美術館見学

■ガバナーを囲む夕食会/漢江ナイトクルーズほか

4月15日(金) ■ソウル市内観光ほか

■RI会長代理歓迎晩餐会に出席

■3690地区との友情の時間ほか

4月16日(土) ■RI第3690地区大会参加

■仁川市内観光ほか/仁川空港から帰途



サムソン美術館



漢江ナイトクルーズ

RI第2710地区
奉仕プロジェクト委員会
国際奉仕部会
部会長 中島 諭



取扱旅行会社: 広島内外旅行株式会社 担当: 信国
TEL.0824-62-2830 FAX.0824-62-2897
各クラブにご案内と申込用紙を再配信しています。

文庫通信 (281号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念誌より

- ◎ 「RI会長代理挨拶・RI現況報告」 ピチャイ・ラタクル 2010 7p (D.2660)

- ◎ 「“THE POWER OF ONE” のいわれ」 渡辺好政 2010 3p (D.2500)

- ◎ 「クラブを活性化し、未来への夢を持とう！(RI長期計画とクラブ活性化)」 南園義一 2010 22p (D.2780)

- ◎ 「水・保健と飢餓・識字率向上の青森県版を作ろう」 黒田正宏 2010 6p (D.2830)

- ◎ 「ロータリーの目指すもの」 藤川享胤 [2010] 9p (D.2550) ◎ 「地区リーダーの皆様へ」 山本茂生 2010 5p (D.2690)

- ◎ 「中国の教育現場でロータリーの精神を」 金美林 2010 5p (D.2640) ◎ 「日韓によせるロータリーの^{ねが}い」 崔相龍 2010 5p (D.2780)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL.(03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日